

## MIC 声明：ミャンマー当局による映像作家久保田さんらへの拘束に断固抗議する

ミャンマーのヤンゴンで 2022 年 7 月 30 日、抗議デモの撮影中にドキュメンタリー映像作家の久保田徹さんが現地警察に拘束されました。報道によると、久保田さんが「扇動罪」などで訴追されたという情報もあり、今後裁判にかけられれば、拘束の長期化が懸念されます。これまでも、久保田さんに限らず、ミャンマー当局はデモなどで自らの考えを表明する人々や表現活動をするジャーナリストらを拘束して弾圧を続けており、国際的な非難にさらされています。

新聞、放送、出版、印刷、広告、映画、演劇、音楽、IT のメディアの労働組合が結集する「日本マスコミ文化情報労組会議 (MIC)」は、軍事クーデター後のミャンマー当局による言論の自由・表現の自由に対する不当な弾圧が民主主義社会の根幹を破壊し、「暴力でものが言えない社会」を生み出す、国境を越えた脅威とみなします。MIC は久保田さんらの不当な拘束・弾圧に断固抗議します。

日本人については、ミャンマー当局は、21 年 4 月にも、取材中のジャーナリスト、北角裕樹さんを逮捕・拘束しました。さらに過去には 07 年 9 月に取材中の映像ジャーナリスト、長井健司さんが軍隊により銃撃され殺害されました。いずれの被害も人々の声を世界に届けようとした表現者、ジャーナリストへの弾圧であり、そのような蛮行が繰り返されていることを見過ごすことはできません。久保田さんも表現者として、人々の目となり、耳となり、ミャンマー当局の管理や締め付けが厳しい中、発信がしづらい現地の人々の声や事実を世界に届けようとして取材していました。

MIC は、不当に拘束された久保田さんらや、久保田さんらの解放を求める世界の人々と連帯し、ミャンマー当局に対しては久保田さんらを即時解放することを求めます。さらに「基本的人権の尊重」「平和主義」を原則とする日本国憲法を堅持し、「表現の自由」を保障する立場にある日本政府については、暴力的なやり方で民主主義社会を破壊しようとするミャンマー当局に対して、久保田さんらの解放を即座に求め、毅然とした対応を取ることを強く求めます。

以上

2022 年 8 月 9 日

### 日本マスコミ文化情報労組会議 (MIC)

(新聞労連、民放労連、出版労連、全印総連、映演労連、映演共闘、広告労協、音楽ユニオン、電算労)